

USB D/Aコンバーター内蔵
真空管バッファCDプレーヤー

TRV-CD5SE

取扱説明書

平成29年5月31日 第1.4版



本機の機能を十分にお楽しみ頂くには、パソコンと本機をUSBケーブルで接続し、専用のソフトウェアをインストールする必要があります。
(MAC OS Xをご利用の場合はインストールの必要はありません。)

TRIODE

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3

TEL : 048-940-3852

FAX : 048-940-3853

e.mail : service@triode.co.jp

この度はトライオード製品をお求め頂きまして誠に有り難うございます。
本機の機能を十分にお楽しみ頂くためにも、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。また、ご使用中にわからない事やトラブルが生じた時のために、いつでも参照できる様に大切に保管して下さい。

本機を安全に正しくご使用頂き、万が一の事故や損害を未然に防止するために、以下の注意事項をお読み頂き、ご理解下さい。

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。

一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。

一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

警告

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると火災や感電による人身事故の原因となります。

絶対に裏蓋を開けたりしないで下さい。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用するため、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。

万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼下さい。

- ・煙が出たり異臭がする
- ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・落としたり、本体を破損した

本機を交流(AC)100V以外の電源で使用しないで下さい。それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないで下さい。故障や火災、感電の原因となります。

電源コードを傷つけないで下さい。(重い物の下敷きになる／無理にねじ曲げたり引っ張ったりする／加工する／加熱する) 電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にして下さい。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いて下さい。

以下の内容をお守り下さい。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。

- ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
- ・本機を改造しない・本機の通風口をふさがない

注意

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

必ず付属の真空管カバーをご使用下さい。使用時は真空管が高温になるため直接触れると火傷の原因となります。特にお子様の手の届かない様にして下さい。

ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所へに設置しないで下さい。落下による怪我や発煙、発火の原因になります。

電源コードは以下の様な取扱いはしないで下さい。破損による感電や発火の原因になります。

- ・プラグを抜く時にコードを引っ張る
- ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
- ・熱器具のそばに近づけて設置する

ヒューズは必ず規定の物をお使い下さい。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて下さい。また移動やお手入れの時は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

電源を入れる時は音量を最小にして下さい。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。またご使用時は適切な音量でご鑑賞下さい。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。

付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

・電池について

リモコンに使用する電池については以下のことを必ず守って下さい。発熱や破裂、液漏れにより故障や事故、火災等の原因になります。

- ・ 指定以外の乾電池は使用しない
- ・ 極性を間違えて使用しない
- ・ 乾電池には充電をしない
- ・ 古い電池と新しい電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない
- ・ 長時間使用しない時は器機から取り出しておく

・CDについて

本機のプレーヤー部は音楽用コンパクトディスク(CD)再生専用です。他のフォーマットのディスクやパソコン用のデータディスク(本機付属のCD-Rを含む)を再生しないで下さい。大音量による器機の破損や聴力障害の原因となります。

次のCDは再生しないで下さい。CDが取り出せなくなる等、故障原因になります。

- ・ 表面にラベルの貼られた物や粘着物等の汚れの付着したCD
- ・ 多角形や星形等の特殊な形状のCD、ひび割れや反りのある変形したCD
- ・ 市販のCD用アクセサリ(スタビライザー、プロテクター等)を装着したCD
- ・ インクジェットプリンタ対応のプリンタブルCD-Rのインクの乾燥の不十分なもの

・結露について

気温の低い屋外から湿度の高い屋内(またはその逆)に本機を移動した場合、本体内部に結露が生じ、故障の原因になります。異動先の環境に十分なじませてからご使用下さい。

保証について

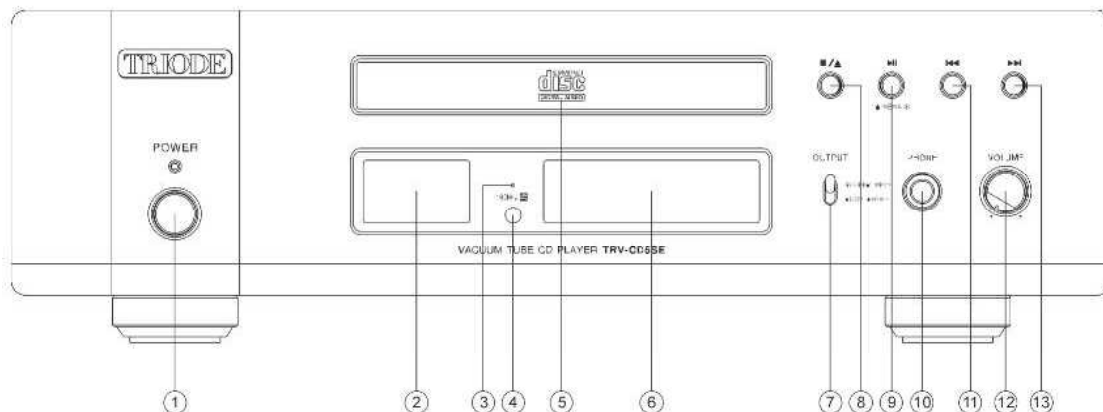
本機は取扱説明書に記載された注意事項等に添った正しい使用状態で保証期間内に故障が生じた場合は、弊社にて無償で修理致します。但し、以下の様な場合、保証の対象外となりますのでご注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

- 1) お客様による本製品のパーツ交換を含む改造を行った場合
- 2) 本製品純正品以外の真空管を使用した事によりアンプ本体や他の真空管に故障や損傷が生じた場合、または接続された器機により不具合が生じた場合
- 3) 取扱説明書に記載されていない操作方法やご使用上の誤りによる故障や損傷
- 4) 輸送、移動、落下等による故障や損傷
- 5) 落雷、地震、風水塩害、その他の天変地異や、公害、火災、異常電圧による故障や損傷
- 6) お客様の希望による真空管の交換や調整、その他メンテナンスの時
- 7) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷

※本機のご使用によって生じた商業上及び資産上その他いかなる損害に対しての賠償責任は負いかねますのでご了承下さい。

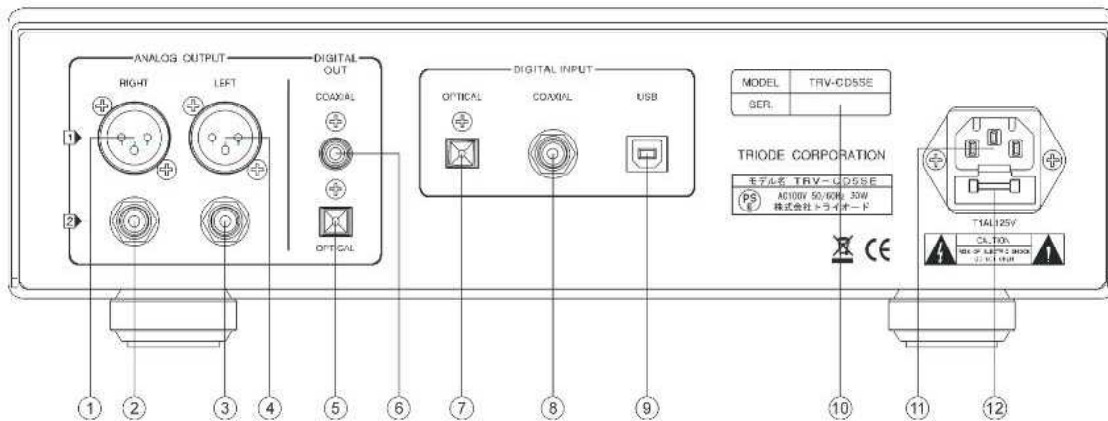
各操作部及び接続端子

・前面パネルスイッチ類



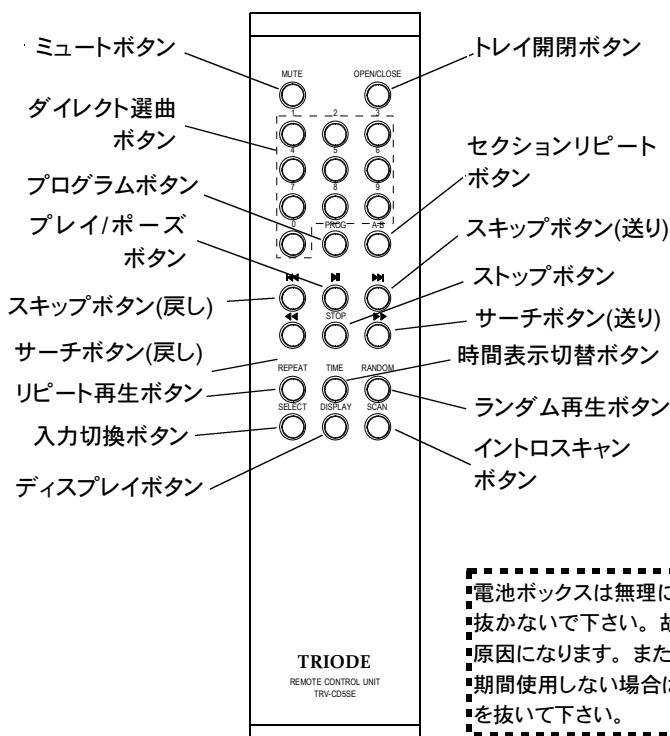
- ①電源スイッチ
- ②真空管インジケータ
- ③192kHzインジケータ
- ④リモコン受光窓
- ⑤CDトレイ
- ⑥ディスプレイ
- ⑦出力切り替えスイッチ
- ⑧ストップ/オープンボタン
- ⑨プレイ/ポーズ(セレクト)ボタン
- ⑩ヘッドホンジャック
- ⑪スキップボタン(戻し)
- ⑫ヘッドホンボリューム
- ⑬スキップボタン(送り)

・背面端子類



- ①右チャンネルXLR(バランス)出力 ②右チャンネルRCA出力 ③左チャンネルRCA出力
 ④左チャンネルXLR(バランス)出力 ⑤光デジタル出力 ⑥同軸デジタル出力 ⑦光デジタル入力
 ⑧同軸デジタル入力 ⑨USB端子 ⑩シリアル番号 ⑪電源インレット端子 ⑫ヒューズボックス

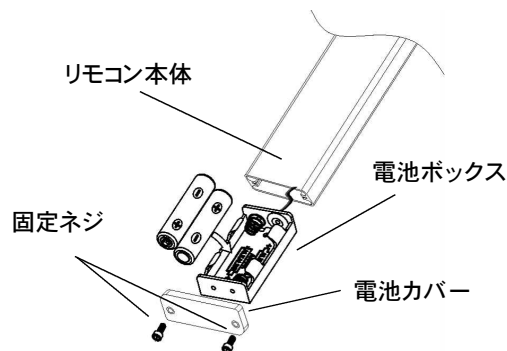
・リモコン操作部



電池ボックスは無理に引き抜かないで下さい。故障の原因になります。また、長期間使用しない場合は電池を抜いて下さい。

・リモコンの電池の交換

- ① リモコン下部のネジ2本を+ドライバーで外し、電池カバーを外す
- ② 電池ボックスを引き出し古い電池を取り出す
- ③ 新しい電池を極性(+/-)を間違えないように取付け、電池ボックスをリモコン本体に挿入する
- ④ 電池カバーを元に戻し、ネジを元通りに取付ける



接続

- 1) 左側面の電源スイッチが「OFF」になっている事を確認しACインレットに電源ケーブルを差し込みます。
- 2) 各入力端子の接続を行います。

・ ANALOG OUTPUT

プリアンプやプリメインアンプ等にアナログ2チャンネルステレオ音声を出力します。バランス接続する場合は上段のXLR端子に、アンバランス接続は下段のRCA(ピン)端子にケーブルを接続します。ケーブルは別途ご用意下さい。

※本機のバランス出力はソリッドステート専用になります。真空管の音を楽しみたい場合はRCA接続を選択して下さい。極性は2番が+となります。

・ DIGITAL OUTPUT

CD再生時のデジタル信号を出力します。デジタル信号用同軸ケーブル(RCA)または光(TOS)ケーブルを使用し、D/AコンバーターやMDデッキ等のデジタル入力器機に接続します。ケーブルは別途ご用意下さい。本機に接続された他のデジタル器機の信号は出力されません。

・ DIGITAL INPUT

本機をD/Aコンバーターとして使用する際の各種デジタル信号を入力します。同軸デジタル入力と光デジタル入力は、他のCDプレーヤーやMDデッキからの出力を同軸(RCA)ケーブルと光(TOS)ケーブルを使用して接続します。ケーブルは別途ご用意下さい。

USB端子はパソコンとUSBケーブルを使用して接続します。ケーブルは付属品をご利用頂けます。

☆本機とパソコンを接続するために

本機はパソコンを接続する事で、パソコンに保存された音楽ファイルを高音質で再生する事ができます。対応するOSのバージョンは、WindowsXP、WindowsVista、Windows7、Macintosh MAC OS X(10.6.4以降)です。尚、Windowsパソコンでご利用の場合は専用のデバイスドライバーをインストールする必要があります。付属のCD-Rディスクから以下の要領でインストールを行って下さい。

※インストールにあたり、お手持ちのパソコンのシステム環境によっては正しく動作しない場合があります。またインストールに伴いパソコンに不具合が生じた場合の保障はいたしかねますので予めご了承下さい。

※ディスクドライブの無いパソコンの場合、外付けのドライブをご用意頂くか、本取説表紙のメールアドレスまでお問合せ下さい。

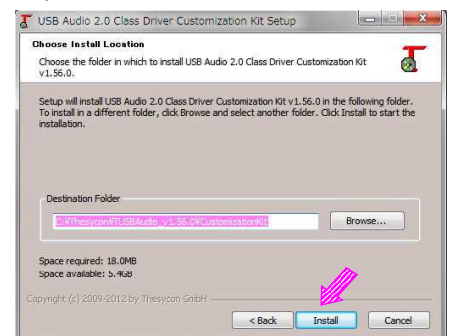
Windows7 にインストールする

※インストールを始める前に本機とPCがUSBケーブルで接続されている事を確認し、電源をONにして下さい。

- ① 付属のCD-Rをパソコンのディスクドライブに挿入する
- ② エクスプローラーから該当のドライブを選択し、下記のファイルを実行する



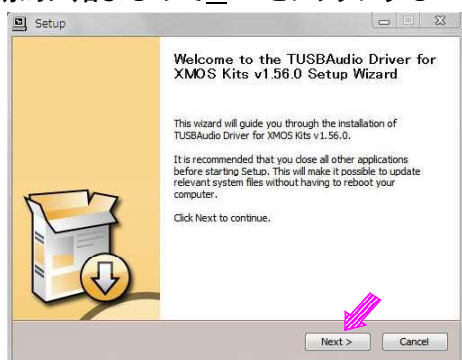
- ③ 下図のようにインストーラーが立ち上がるので Next をクリックする
- ④ 必要に応じてインストール先を設定 (Browse)し、Install をクリックする



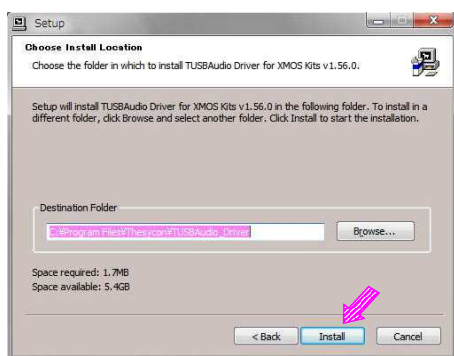
- ⑤ インストールが終了すると以下の画面が現れるのでFinishをクリックする



- ⑥ 次にユーティリティソフトのインストールが自動的に始まるのでNextをクリックする



- ⑦ 必要に応じてインストール先を設定してInstall をクリック



- ⑧ 以下の画面が出たら Finish をクリックして終了する



本機とパソコンをUSBケーブルで接続し、本機の電源をONにして、「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「オーディオデバイスの管理」からサウンドのダイアログを開き、

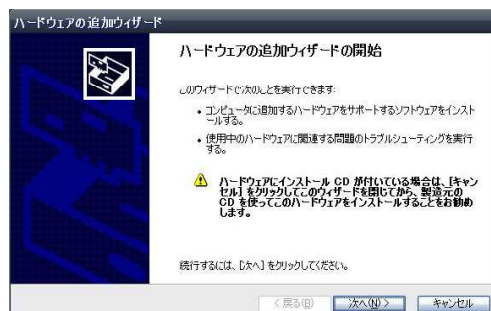
「XMOS XS-L1 Audio」の標記が確認出来ればインストールは成功です。WindowsXPやVistaでも同様の手順でインストールします。(XPでは「TRIODE TRV-CD5SE Output」と表示されます。)



WindowsXPでインストール後に以下の様に既存のデバイスに本機が現れなかった際は「コントロールパネル」→「ハードウェアの追加」から本機を認識させる必要があります。



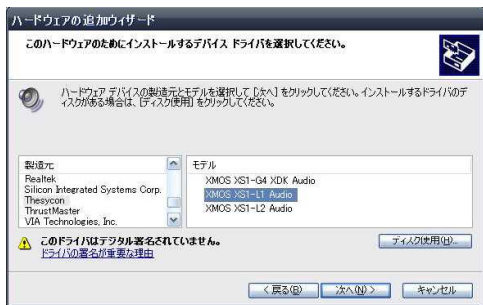
- ① 本機をパソコンにUSBケーブルで接続し電源をONにした状態で「ハードウェアの追加ウィザード」立ち上げます。



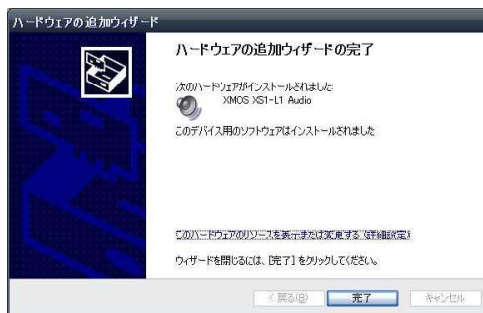
- ② サウンド、ビデオおよびゲームコントローラーを選びます。



- ③ 「THESYCOM」を選び「XCOM XS1-L1 Audio」を選択します。



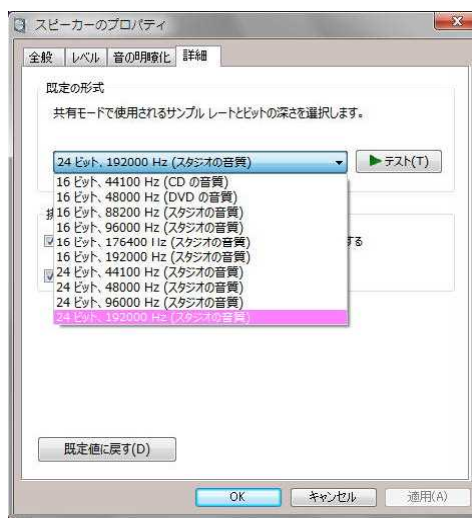
- ④ インストール中に中止を促すメッセージが出たら続行選択し、下図が出たら終了です。



解像度の設定を行う

デバイスドライバーのインストールが終了したら、「サウンド」の右下の「プロパティ」をクリックし、「詳細」の中の規定の形式で本機で使用するためのサンプリング周波数と解像度を設定しす。本機では192kHz/24bitに対応しておりますので、通常はその最高値で設定します。

※ WindowsXPではこの設定は有りません。



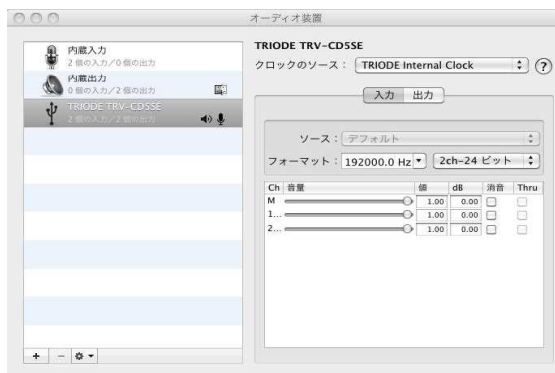
MAC OS X での確認

特に複数の器機を接続している場合、下記の設定で「TRIODE TRV-CD5SE」と選択されている事を確認して下さい。Audio MIDIの設定ではフォーマットの設定も行って下さい。通常は192000.0Hz、2ch-24ビットを選択します。

システム環境設定 → サウンド



Audio MIDIの設定



操作方法

1. 電源を入れる

接続器機のボリュームを最小になっている事を確認してから、本機の電源スイッチをONにします。電源が入ってから約30秒間はミュート機能が働いて音が出ません。ミュート中はディスプレイ上の▶が点滅します。

2. 再生音質を決める

本機ではラインアンプ回路に真空管バッファを採用しております。お好みにより真空管と半導体の回路を切り替えてお楽しみ頂けます。「出力切り替えスイッチ(OUTPUT)」を「VACUME TUBE」側にすると真空管の、「SOLID STATE」側にすると半導体の音になります。真空管を選択すると、真空管インジケーターが点灯し、内部の真空管がオレンジ色にライトアップされます。

※真空管の音はRCA出力時のみお楽しみ頂けます。XLA(バランス)出力時は半導体の音になります。

3. ヘッドフォンで聴く

ヘッドフォン端子はΦ6.3mmの標準ジャックに対応します。Φ3.5mmのステレオミニジャックをご使用の際は別途変換プラグをご用意下さい。インピーダンスは特に指定はありませんが50Ω程度のもをお勧めします。接続したらボリュームつまみで適切な音量に調整してお楽しみ下さい。

※必ずボリュームを絞ってから接続して下さい。また、長時間大音量でご使用するのはお止め下さい。

4. 聴きたいソースを選ぶ

本体のプレイ/ポーズボタンおよびリモコンの入力切換ボタン(SELECT)を1回ずつ押す事により、ソースが CD → USB入力(L1 USB) → 光デジタル入力(L2 OP) → 同軸デジタル入力(L3 COA) → CD と切り替わります。本体内部にCDが挿入されている場合は本体のボタンはプレイ/ポーズボタンとして機能しますので、その際はリモコンで切り替えて下さい。

※"L3 COA" から "CD" に移動する際、CD読み込みの動作を行いますので、切換に少し時間がかかります。

CDを聴く

・CDを再生する

- ① 電源スイッチをONにして、本体のストップ/オープンボタンまたはリモコンのトレイ開閉ボタンを押してCDトレイを引き出します。
- ② CDトレイにレーベル面を上にしてCDを載せ、ストップ/オープンボタンまたはトレイ開閉ボタンを押して、CDトレイが引き込まれて、ディスプレイにトラック数および総演奏時間が表示されたら、本体またはリモコンのプレイ/ポーズボタンを押すと再生が始まります。
- ③ 再生中にプレイ/ポーズボタンを押すとその時点で一時停止します。再開するにはもう一度プレイ/ポーズボタンを押して下さい。

※ポーズ状態でもCDは再生中と同じ動作をしています。長時間のポーズは避けて下さい。

- ④ 演奏を中止する時はストップ/オープンボタンまたはリモコンのストップボタンを押します。
※停止中にストップ/オープンボタンを押すとCDトレイが開きます。リモコンのトレイ開閉ボタンは再生中でも直接CDトレイを開く操作ができますが、なるべく停止してから操作して下さい。

・選曲をする

- ① 早送り・巻き戻し (リモコンのみ)
再生中にリモコンのサーチボタン(送り・戻し)を押すと早送り・巻き戻し状態になります。
※本機では早送り・巻き戻し中の音声は出力されません。
- ② スキップ
本体およびリモコンのスキップボタンで前後に1曲ずつの選曲が出来ます。再生、停止中のどちらの状態でも操作可能です。停止時に操作した際は続けてプレイボタンを押して下さい。
※1曲目の時に戻し側を押すと最終トラックを、最終トラック時に送り側を押すと1曲目に移動します。
- ③ ダイレクト選曲 (リモコンのみ)
ダイレクト選曲ボタンでトラック番号を直接指定して選曲できます。停止中に操作すると直ちに再生を開始します。
※10曲以上のCDの場合、10曲目以降の2桁入力の指示を待つために2秒間のインターバルがあります。
10曲目以降を指定する際は2秒以内に2桁の数字を続けて押して下さい。

・リピート再生

リモコンのリピートボタンを1回押すとディスプレイに "REPEAT1" と下部に表示され、1曲リピートモードになり、選曲中の1曲を繰り返し再生します。もう一度押すと "REPEAT" と表示され、再生中のCDの1曲目から最後の曲までを順番に繰り返し演奏します。もう一度ボタンを押すとディスプレイ内の表示が消えて解除されます。

・セクションリピート再生

曲の任意の位置を繰り返し聴きたい時、聴き始め位置でセクションリピートボタンを押すと、ディスプレイ下部に "A↔" が表示され、開始ポイントが記憶され、終了位置でもう一度ボタンを押すと "A↔B" と表示され、その区間を繰り返し再生します。再度ボタンを押すと解除されます。

・プログラム再生

お好みの曲順を記憶して再生します。

- ① CDを入れ停止の状態にします。
- ② リモコンのプログラムボタンを1度押すとディスプレイに "00 P-00" と表示され、下部に "PROGRAM" と "EDIT" が表示されます。
- ③ 1曲目に再生したい曲番をスキップボタンまたはダイレクト選曲ボタンを押して選びプログラムボタンを1回押します。例えば5曲目を選ぶとディスプレイに "05 P-01" と表示されます。
- ④ 同様に次の曲番を選び、プログラムボタン押す作業を繰り返していくと次々と曲を記憶していきます。
- ⑤ 記憶が終わったらプレイボタンを押します。すると記憶した順番で再生を開始します。ストップボタンを押すと演奏を停止し、ディスプレイも通常の停止状態(曲数/総時間)を表示します。この時点でプレイボタンを押すと通常再生を、プログラムボタンを押してからプレイボタンを押すと、今まで記憶した曲順でプログラム再生を開始します。
※プログラム再生中はディスプレイ下部に "PROGRAM" が表示されます。
※通常停止状態表示時にプログラムボタンを押すと押す毎に総記憶曲数/合計演奏時間 → トラック番号/プログラム番号 … を順次表示し、記憶状態を確認できます。
- ⑥ プログラム内容を消去する時はストップ/オープンボタンを押してCDトレイを排出して下さい。

・ランダム再生

リモコンのランダム再生ボタンを押すと、ディスプレイ下部に "SHUFFLE" と表示され、曲順がランダムに再生します。再生中/停止中ともに操作でき、停止中に押すと直ちに再生を開始します。もう一度ボタンを押すとディスプレイ内の表示が消えて解除されます。

・イントロスキャン

停止中にリモコンのイントロスキャンボタンを押すとディスプレイ下部に "SCAN" が点滅して各曲の始めから10秒間を次々に再生します。イントロスキャン中にもう一度ボタンを押すと、今再生している曲を引き続き再生します。

・他の操作 (リモコンのみ)

- ① ディスプレイ表示切換
CD再生中にリモコンの時間表示切換ボタンを押す度に「トラック番号/トラック経過時間」 → 「トラック番号/トラック逆算時間」 → 「 /総収録時間の逆算」とディスプレイ表示が切り替わります。
- ② ディスプレイ輝度切換
ディスプレイボタンを押す度にディスプレイの輝度を 明 → 暗 → 消灯 と切り替える事が出来ます。
- ③ 音声ミュート機能
リモコンのミュートボタンを押すとディスプレイの▶が点滅し、音声出力されなくなります。もう一度押すと解除されます。

※これらの機能は次の外部入力使用時には操作できません。一度CDモードに移動してから操作して下さい。

外部入力のソースを聴く

本体のプレイ/ポーズボタンまたはリモコンの入力切り替えボタンを押してお聴きになる外部入力を選びます。尚、本体内部にCDが挿入されている場合は本体でのCDモードからUSBモードへの入力切替操作はできませんので、リモコンを使用して下さい。USBモードから外部デジタル入力、CDモードまでは可能です。また、トレイがオープン状態の時は本体、リモコンとも入力切替操作はできません。

・ USB入力 (L1 USB)

USBケーブルで接続されたパソコンに保存されたソースを再生します。必要に応じてOSやご利用になるメディアプレーヤーの設定を行って下さい。対応可能なサンプリング周波数およびビットレートは192kHz/24bitまでです。

※スクリーンセーバーが動作したり、ブラウザがページ更新を行ったりすると再生音が途切れたり音飛びが生じたりします。本モードをお楽しみ頂く時はなるべくそれらが動作しないよう設定しておく事をお勧めします。

※使用中に本機の電源を切ったり、USBケーブルが抜けたりするとパソコンのメディアプレーヤー等が誤動作することがあります。その際はソフトを再立ち上げしたり、OSの設定をやり直して下さい。

※本機からパソコンを操作することはできません。

・ 光デジタル入力 (L2 OP) / 同軸デジタル入力 (L3 COA)

S/PDIF準拠の2チャンネルデジタル信号を入力します。他のCDプレーヤーやMDデッキ等の信号を入力出来ます。本機にDVDレコーダー等のAV器機の信号を入力する時は2チャンネルPCM出力に設定して下さい。それ以外の信号(Dolby Digital等)は再生出来ません。

「故障？」と思われた時には

以下の内容を確認してみてください。改善しない場合は下記のみでお問合せ頂き、必要に応じて修理をご依頼下さい。

現象	確認	対策
電源が入らない	電源ケーブルが外れていないか ヒューズは切れていないか	ケーブルを挿し直して下さい ヒューズを交換して下さい
CDが再生出来ない CDの音が飛ぶ	CDに傷が入っている CDが汚れている ピックアップが結露している CDが裏返し入っている	傷の酷いCDは再生出来ません CDをクリーニングして下さい 本体が周囲温度になるまで暫くお待ち下さい CDを正しく入れ直して下さい
USBの音が飛ぶ	バックグラウンドでソフトが動作している ファイル作成時にバックグラウンドでソフトが動作していた	メディアプレーヤー以外のソフトを終了して下さい リッピングし直して下さい
音が出ない	電源投入直後に再生した アナログ出力配線が外れている OSやメディアプレーヤーのボリュームが下がっている 各入力ケーブルが外れている	MUTEが解除されるまで約30秒お待ち下さい ケーブルを挿し直して下さい 適切なボリュームに調整して下さい ケーブルを挿し直して下さい
リモコンが動作しない	リモコンの電池が消耗している 操作位置が不適切	電池を交換して下さい 動作範囲は30度6m以内です

・ CDのディスプレイ表示メッセージについて

NO dISC : CDがトレイに入っていない(CDを認識出来ない)

Er dISC : CDが読み込めない

主な仕様

■アナログ出力部

出力レベル：2.2V±1dB(RCA) 4.6V±1dB(XLR)
ヘッドフォン出力：100mW 32Ω Φ6.3mm標準ジャック
周波数特性：20Hz～20kHz±0.3dB
S/N比：92dB
歪率：60dB以下

ダイナミックレンジ：100dB

チャンネルセパレーション：90dB (1kHz)

使用真空管：6922(=E88CC、6JD8タイプ高信頼管)×2

■デジタル出力部

同軸(RCA/75Ω)出力/光(TOSLink)出力 各1系統：S/PDIF準拠

■デジタル入力部

サンプリング周波数：44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz

解像度：16～24ビット

同軸(RCA/75Ω)入力/光(TOSLink)入力 各1系統：S/PDIF準拠

USB B端子：USB2.0 HighSpeed準拠

対応OS WindowsXP/Vista/7 MacOS-X(10.6.4以上)

■総合

電源：AC100V 50/60Hz

消費電力：30W

外形寸法：横幅345×奥行330×高さ105mm

重量：8kg

■付属品

電源コード×1 リモコン×1 単四電池×2 ドライバー×1

USBケーブル×1 デバイスドライバディスク×1

取扱説明書(本誌)×1 保証書×1

製品内容や修理についてのお問合せ

TEL：048-940-3852 FAX：048-940-3853

e:mail：service@triode.co.jp

※お電話の場合は祝日を除く月曜日から金曜日の10時から16時の間に対応させていただきます。

ヒューズの交換について

ヒューズはACインレット内に装着されています。

電源ケーブルを外し、右図の様にマイナスドライバーなどでヒューズボックスを引き出し、125V(または250V)タイムラグ型T2Aを取り付け、元のとおりに取り付けて下さい。



※仕様は予告なく変更する事があります。

※トップカバー固定ネジにアースの為のキクワッシャーを使用しております。

※WindowsXP/WindowsVista/Windows7 はマイクロソフト社の、MAC OS X はアップルコンピューターの登録商標です。